

第17回ITER 職員募集説明会（米国ワシントンDC）でのQ&A

1. 日時・場所

平成21年2月4日（水）10：00～12：00 及び 15:00～17:00

JAEAワシントン事務所

2. 出席者 計3名

3. 説明内容

①米国でのITER職員公募説明会開催

大越 実 ワシントン事務所長

②ITER 計画とITER 機構職員公募について

③ITER 機構職員公募の面接試験について

杉本 誠 ITER 協力調整グループリーダー

4. 説明会でのQ&A

Q:一つの公募ポストにどれぐらいの応募者がいるのでしょうか？

A:一つの公募ポストに参加極からどれだけの応募があるか正確な数字は把握していませんが、ポストにより応募者の数は大きく異なると聞いています。また、応募者があっても、適任者が居なければ、誰も採用されないこともあります。

Q:日本からの赴任者で、ご家族で赴任されている人はいるのでしょうか？

A:もちろん、おります。ご子弟を含め赴任され、ITER国際学校にご子弟を入学させて居る方もおります。

Q:今後、事務系の公募の予定はありますか？

A:今後も引き続き事務系の公募はあるものと思います。事務系の専門職員、支援職員のどちらの場合でも公募はされると思います。

Q:ワシントン事務所はITER計画のために置かれているのでしょうか？

A:原子力機構のワシントン事務所は、広く米国での原子力政策、行政、研究開発の情報収集・発信を目的に、ITER計画が始まる前から設立され、活動を行っています。もちろん、ITER計画についても、その一環として、情報収集・発信を行っています。



以上